



2020年度「連帯社会」連続講座

主催：公益社団法人 教育文化協会
連帯社会研究交流センター

参加費無料
要申込

「連帯社会研究交流センター」は、連合、教育文化協会、労働者福祉事業団体、生活協同組合が法政大学と連携して設立した修士課程大学院コース「連帯社会インスティテュート」（通称：連合大学院）の支援・連携組織として、連帯社会構築にむけてのさまざまな研究交流の機会を企画・実施しています。

このたび、「連帯社会」に関わる研究者の方々に問題提起をいただく連続講座を企画いたしました。第2回は、山本依里氏、藤原望氏をお招きして、「コロナ禍における社会的弱者とNPO」について、ご講演いただくこととなりました。ご関心のある方々に広くご参加いただきますようお願い申し上げます。

なお、参加申し込み方法につきましては、連帯社会研究交流センター・ウェブサイト上で行なう方法をとらせていただきますので、「イベント・シンポジウム」<<http://recss.jp/event.html>>をご参照ください。

第2回：コロナ禍における社会的弱者とNPO ：都市・農村における相談事業からの検討

日時 2020年11月7日（土）15:00～16:40

場所 Zoom 開催

講師：山本依里氏（そらち生活サポートセンター主任研究員）
藤原望氏（社会福祉法人新栄会相談支援員）

山本依里氏のプロフィール

NPO 法人コミュニティワーク研究実践センター：そらち生活サポートセンター主任相談員。北海道大学文学部、北海道大学大学院文学研究科卒。文化人類学専攻。2015年よりNPO 法人共働学舎、真木共働学舎（長野県小谷村）にて、障害のある人々と自給自足的な共同生活を送る。2017年、NPO 法人コミュニティワーク研究実践センター：そらち生活サポートセンター（北海道月形町）にて生活困窮者自立支援事業に従事。2019年6月より現職。

藤原望氏のプロフィール

社会福祉法人新栄会相談支援員。大阪市立大学大学院創造都市研究科修士課程修了。在学中から生活困窮者やマイノリティについての興味関心を持ち、学生時代に救護施設に従事したことをきっかけとして、生活困窮者支援領域に関わりを持ち始める。NPO 法人で3年間生活困窮者自立支援事業における相談支援事業に関わる。総合社会福祉研究所発行の「月刊 福祉のひろば」に生活困窮者支援に関する論考を寄稿しながら現場と研究の実践を模索中

プログラム

15:00～16:10 講演
16:10～16:40 質疑応答

～お問い合わせ～

連帯社会研究交流センター（ReCSS）

e-mail: info@recss.jp

URL: <http://recss.jp>